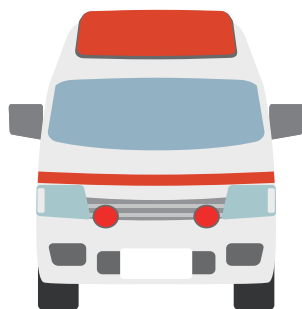


# 都筑区版 救急対応マニュアル

## 【高齢者支援従事者向け】



横浜消防マスコットキャラクター  
「ハマくん」



### 【はじめに】

近年、全国的に救急出場件数は著しく増加しており、都筑区においても救急出場件数の増加が予測されています。特に高齢化を背景とした救急需要は大幅に増加しています。

限りある救急車を有効活用するためには、円滑な救急活動の推進とともに、119番通報による救急要請から病院到着までの救急活動時間の短縮、さらに傷病者に関する速やかな情報伝達が求められています。

こうした課題に対応するため、都筑区では平成31年2月から区内の医師会、医療機関、民生児童委員、地域ケアプラザ、高齢者福祉施設、区役所、消防署で構成する「都筑区救急需要対策連絡会」を設置し「救える命が救われるまち“都筑区”」の実現に向けて様々な方策について検討を進めてきました。

本救急対応マニュアルは、訪問看護及び介護、ケアマネジャー、民生児童委員、高齢者福祉施設職員等の高齢者を支援する方々が、到着した救急隊に対応するための参考資料として活用していただく内容となっています。

# 高齢者世帯編（傷病者発見時の対応手順）

具合が悪い人、ケガ人を発見！

傷病者の状態を確認

- 意識の状態
- 呼吸の状態
- 本人の訴え、症状の確認

かかりつけ医、訪問看護師等に連絡が…

とれる

とれない

かかりつけ医、訪問看護師に状況を説明

- かかりつけ医
- 訪問看護師

その人の状態が・・・

- 意識がない（または、もうろう）
- 呼吸がない（または荒い）
- 突然の重大な症状（P3参照）

一つも当てはまらない状態

一つでも当てはまる状態

☎ #7119 → 2番を選択

救急受診ガイド

横浜市救急受診ガイド




様子を見る

指示・相談結果に応じた対応を実施



119番通報で救急車を要請！！

救急隊が到着「前」の対応・準備

- 可能な範囲の応急処置（心肺蘇生等）
- 搬送時に必要な物を準備（右記  を参照）
- 「救急隊への情報提供用紙」の準備（P5～P6参照）
- 家族等への連絡
- 火の元・施錠の確認

救急隊が到着「後」の対応・引継ぎ

- 搬送に必要な情報を提供（まとめたファイル等があれば提供・提示）
- 「救急隊への情報提供用紙」の提出、発見時の状況説明（情報提供用紙がない場合、右記  を参照）

-  救急要請と救急要請後の流れ
-  救急対応以外の流れ

○介護関係者及び看護師、民生児童委員による救急車への同乗について  
救急車への同乗は任意です。

家族と連絡が取れず、病院選定に時間を要することがあるため、救急隊から同乗をお願いするケースがありますが、私用または他の業務があり、同乗ができない場合は救急車への同乗を断ることも可能です。

○医療関係者の皆様へ

救急車で傷病者を搬送する場合、医療機関で適切な治療を行うため、「診療情報提供書（紹介状）」を救急隊に手渡すか、速やかに搬送先医療機関に送付してください。

医療機関のFAX番号は、P18「都筑区と近隣の医療機関」を参照してください。

救急車が来るまでに用意しておくもの



▼ 救急車を呼んだら、こんな物を用意しておくとう便利です

- 保険証や診察券
  - お金
  - 靴
  - 普段飲んでいる薬（おくすり手帳）
- 
- 
- 
- 
- 

救急要請時、2名以上居る場合は・・・  
救急車等のサイレン音が聞こえたら、建物前で大きく合図をお願いします。



【救急隊が医療機関への搬送に必要な傷病者情報】

- 住所、氏名、生年月日、年齢
- 救急要請の経緯（発見時の状況、本人の訴え等）
- 過去の病気、現在治療中の病気、認知症の有無
- 普段の生活状況（介護なし・介護あり等）
- かかりつけ医（〇〇病院、△△クリニック）
- アレルギー、内服薬の情報
- 家族等関係者の連絡先と連絡実施の有無

# 突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

## 高齢者

### 顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える



### 頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

### 胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

### おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

### 手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる



### 意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

### 吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

### けいれん

- けいれんが止まらない

### 飲み込み

- 物をのどにつまらせた

### けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど

### 事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎  
 高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

※迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

総務省消防庁ホームページから抜粋

# やっておこう！救急搬送時に必要な備え！

可能な範囲で結構ですので、訪問時に下記の内容をお伝えください。

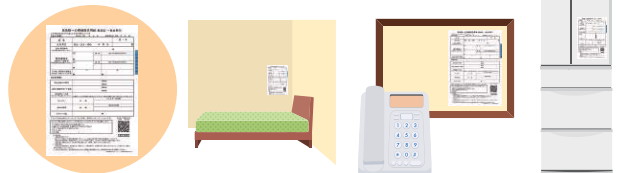
## 1 「救急隊への情報提供用紙（都筑区一般世帯用）」の事前作成と掲出

救急車を必要とする「もしも」の時に備え、あらかじめ普段の診療や投薬の情報をまとめた「救急隊への情報提供用紙」（P5、6）を作成しましょう。情報提供用紙は、救急隊あるいは訪問した関係者がすぐに発見できる、分かりやすい場所等に保管し救急搬送時に提出してください。内容を随時確認し、変更点は速やかに修正してください。

**本用紙は、個人情報が含まれているので管理と取扱いには十分に注意して下さい。**

### 掲出場所の参考例

寝室の壁、固定電話機の近く、冷蔵庫の扉など



「救急隊への情報提供用紙」は都筑消防署ホームページからダウンロードできます。また、都筑消防署と各消防出張所においても配布しています。

🔍 都筑消防署

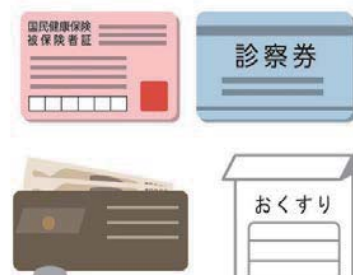
検索

## 2 必要書類等の一括保管

医療機関を受診する場合に必要な情報が記載された書類や保険証等を一か所にまとめて保管しておく、と、速やかな救急搬送が可能となります。

救急搬送時に必要な持ち物は、次のとおりです。

- 保険証又は後期高齢者医療証、介護保険証など
- 現在通院中、あるいは受診歴のある医療機関の診察券
- おくすり手帳、薬剤情報書（お薬の説明書）
- 服用中の薬



## 【予防救急、#7119に関する啓発事項】

### 1 予防救急の実施

訪問時に健康状態を悪化させる可能性がある生活環境の改善、日常生活を維持するための体力作り、手洗いうがいの推奨等を行ってください。また、高齢者のケガによる救急要請の半数以上が自宅内での「転倒、転落」となっています。家の中を整理整頓、照明器具や手すりの設置等、自宅でのケガ予防にも配慮してください。詳しくは都筑消防署や各消防出張所で配布している「ケガの予防対策」をご覧ください。

### 2 #7119（横浜市救急相談センター）、横浜市救急受診ガイドの活用

訪問の機会を捉えて一人でも多くの皆様に#7119（横浜市救急相談センター）、横浜市救急受診ガイドなどセーフティネットの活用を啓発してください。（P18「すぐに救急外来を受診すべきか、救急車を呼ぶべきか知りたい」を参照）

### ご家族、介護関係者の皆様へ

- ・軽度の体調不良が見受けられた場合、重症化となる前に早めの医療機関への受診をお願いします。
- ・普段から往診医の診察、訪問看護サービスを受けている場合は、救急要請をする前に一度かかりつけ医、または訪問看護師に連絡を行い、状況を説明して対応の指示を仰いでください。

# 救急隊への情報提供用紙(都筑区・一般世帯用) (記入要領)

※本用紙はおおむね65歳以上の方を対象としています

## 【基本情報】

作成日: 令和 ○ 年 □ 月 △ 日

情報更新日: 令和 年 月 日

フリガナ 氏名	ツツキ ハナコ 都筑 花子		男・ <input checked="" type="radio"/> 女
生年月日	明治・大正 <input checked="" type="radio"/> 昭和 3年 3月 3日		91 歳
住所・電話番号 (住民票記載の住所とします。)	都筑区○町△番□号 ☎ 045-111-2222		
緊急連絡先 (連絡がつく親族等) 携帯電話を優先で記載してください。	フリガナ 氏名	続柄	居住する都道府県と市町村
	ツツキ タロウ 都筑 太郎 ☎ 090-111-1111	長男	神奈川県 ○市 □区
	フリガナ 氏名	続柄	居住する都道府県と市町村
	アオバ ジュンコ 青葉 順子 ☎ 03-1111-2222	長女	東京都 □区
その他、関係者の連絡先 (区役所、地域ケアプラザ等)	① 横浜 一子(ケアマネジャー) ☎ 045-666-7777		② 港北 二郎(○区 □課 △担当) ☎ 045-888-9999

## 【医療情報】

現在治療中の病気	高血圧、糖尿病、リウマチ 認知症、など	病院名: ○病院、□クリニック 病院名:
過去に診断を受けた病気	心筋梗塞、乳がん、脳梗塞など	病院名: ○大学病院 病院名:
現在服用している薬 (おくすり手帳も渡してください。)	アムロジピン、バイアスピリン、メトグルコなど処方されている常用薬を記載 ※服用している薬の情報が記載されている「おくすり手帳」等を提供・提示できれば記入は不要とします。	
アレルギー	<input checked="" type="radio"/> 有・無	アレルギーの名称
		そば、甲殻類、アルコールなど(食物、薬のアレルギーがある場合は記載する)
身体の麻痺	<input checked="" type="radio"/> 有・無	具体的な内容
		日常生活車椅子使用、右半身麻痺あり
かかりつけ医	○○クリニック □□医師	☎ 045-000-5555

【“もしも”の時の治療やケアについて】(「もしも手帳」、「都筑区エンディングノート」から引用)

“もしも”の時に医師に伝えたいことがあれば、「□」の中にチェックをお願いします。

- できるだけ長く生きるための治療を受けたい  
 痛みやつらさを軽減する治療やケアのみをしてほしい  
 すべての治療やケアを受けたくない  
 わからない  
 その他( )

救急隊への情報提供用紙  
(都筑区・一般世帯用)



都筑消防署

### 【注意事項】

1. 情報提供用紙について

掲出場所は、P4『「救急隊への情報提供用紙(都筑区一般世帯用)」の事前作成と掲出場所』を参照してください。

救急隊や医療関係者へ情報提供することについて同意できる場合、ご自身またはご家族等に記載をお願いします。  
重要な個人情報となるため、ご自身の判断と責任において管理し、紛失には十分ご注意ください。

2. 緊急連絡先

救急隊や医療関係者が、緊急連絡先に記載されている電話番号に、電話連絡をする場合がありますので、ご自身またはご家族に事前の説明をしておいてください。

3. “もしも”の時のために、お元気な時にあらかじめこの用紙に最低限を記入して、救急隊が持ち出し易い準備をしてください。

# 救急隊への情報提供用紙(都筑区・一般世帯用)

※本用紙はおおむね65歳以上の方を対象としています

## 【基本情報】

作成日: 令和 年 月 日

情報更新日: 令和 年 月 日

フリガナ 氏名			男・女
生年月日	明治・大正・昭和	年 月 日	歳
住所・電話番号 (住民票記載の住所とします。)	☎		
緊急連絡先 (連絡がつく親族等) 携帯電話を優先で記載してください。	フリガナ 氏名	続柄	居住する都道府県と市町村
	☎		
	フリガナ 氏名	続柄	居住する都道府県と市町村
	☎		
その他、関係者の連絡先 (区役所、地域ケアプラザ等)	①	☎	②

高齢者世帯編

## 【医療情報】

現在治療中の病気	病院名:	
	病院名:	
過去に診断を受けた病気	病院名:	
	病院名:	
現在服用している薬 (おくすり手帳も渡してください。)	※服用している薬の情報が記載されている「おくすり手帳」等を提供・提示できれば記入は不要とします。	
アレルギー	有・無	アレルギーの名称
身体の麻痺	有・無	具体的な内容
かかりつけ医	☎	

【”もしも”の時の治療やケアについて】(「もしも手帳」、「都筑区エンディングノート」から引用)

”もしも”の時に医師に伝えたいことがあれば、「□」の中にチェックをお願いします。

- できるだけ長く生きるための治療を受けたい  
痛みやつらさを軽減する治療やケアのみをしてほしい  
すべての治療やケアを受けたくない  
わからない  
その他( )

救急隊への情報提供用紙  
(都筑区・一般世帯用)



都筑消防署

### 【注意事項】

- 情報提供用紙について  
駆け付けた救急隊に本用紙を情報提供することにより、迅速な救急活動や早期の病院搬送につながります。救急隊や医療関係者へ情報提供することについて同意できる場合、ご自身または家族等で記載をお願いします。重要な個人情報となるため、ご自身の判断と責任において管理し、紛失には十分ご注意ください。
- 緊急連絡先  
救急隊や医療関係者が、緊急連絡先に記載されている電話番号に、電話連絡をする場合がありますので、ご自身またはご家族に事前の説明をしておいてください。
- ”もしも”の時のために、お元気な時にあらかじめこの用紙に最低限を記入して、救急隊が持ち出し易い準備をしてください。

# 高齢者福祉施設編（傷病者発見時の対応手順）

## 傷病者を発見！

- 意識の確認
- 呼吸の確認
- 本人の訴え、症状確認

### 原則、かかりつけ医や看護師へ相談

ただし、相談の必要がないと判断した場合は救急車を要請

## 119番通報で救急車を要請！！

- 「住宅型」は部屋番号、氏名を伝えてください。
- 救急隊の入口が正面口以外の場合、入口の場所を伝えてください。

### 救急隊が到着「前」の対応・準備 （複数の職員で対応してください。）

- 応急処置（心肺蘇生・AEDの使用、出血対応、吐物・排泄物排除等）
- 受付・警備員に救急要請した旨を連絡し、救急隊を案内する準備
- 「救急隊への情報提供用紙」、サマリーの確認・準備
- かかりつけ医、提携病院、その他医療機関への応需確認
- 家族等への連絡（来院予定時間、家族の意思確認）
- 搬送準備（柵の取り外し、ベッドの移動）
- 状況を把握している職員による救急車への同乗準備

### 救急隊が到着「後」の対応・引継ぎ

- 救急隊等を速やかに傷病者のもとに案内
- 「救急隊への情報提供用紙」を提供し、状況を把握している職員による説明
- 診療情報提供書（紹介状）、サマリー等を提供・提示
- 状況を把握している職員による救急車同乗（サマリー等を持参）

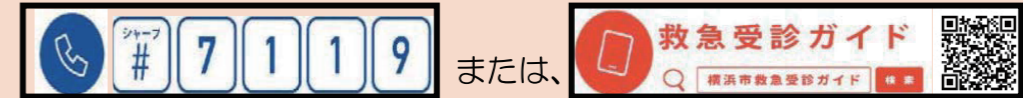
「診療情報提供書（紹介状）」が準備できない場合、速やかに搬送先医療機関に送付する。  
※医療機関のFAX番号は、P18「都筑区と近隣の医療機関」を参照してください。

- 救急要請と救急要請後の流れ
- 救急対応以外の流れ

#### ● かかりつけ医等へ連絡時の伝達項目

- 現在の状況について説明
- 必要に応じて「延命処置希望の有無等、意思表示」についての説明

#### ● かかりつけ医等に連絡が付き、救急要請可否の判断ができない場合



かかりつけ医等の指示や#7119の相談結果に応じた対応を実施  
※施設所有の車等で、搬送可能であれば搬送してください。  
（施設に車がない場合は、P17「横浜市患者搬送時認定事業者一覧」を参照）

#### ● 情報提供用紙「救急隊への引継事項」への記入

※この部分については、救急隊到着前に必ず記載してください。

【救急隊への引継事項】※救急隊到着までに記入すること※

救急要請理由	心肺停止（発見：12時30分、最終生存確認：12時15分）		
応急手当の内容	胸骨圧迫（12時30分）、AED装着（ショックなし、12時35分）		
病院連絡	（ A 病院）	応需	不応需・未連絡
	（ B 病院）	応需	不応需・未連絡

#### ● 救急隊への引継ぎ内容 ●

##### ☆心肺機能停止時・重篤の場合

- 傷病者発見時の状況説明
- 既往歴、服用薬、アレルギー、最終食事時間
- 最終生存確認時間
- 家族連絡の有無
- 「延命処置希望の有無など、意思表示」について

##### ★心肺機能停止時・重篤以外の場合

- 救急車の要請に至った経緯を端的に説明
- 呼吸、脈拍、血圧、体温などのバイタルサイン
- 家族連絡の有無
- かかりつけ医等への応需結果

「救急隊への情報提供用紙」は都筑消防署のホームページからダウンロードが可能です。また、都筑消防署と各消防出張所においても配布しています。

# 救急隊への情報提供用紙 (都筑区・高齢者福祉施設用)(記入要領)

【基本情報】※事前記入※ 赤字は事前に記入 青字は救急要請時に記入 作成日:令和 2 年 1 月 1 日

フリガナ 氏名	ツツキ タロウ <b>都筑 太郎</b>			<input checked="" type="radio"/> 男・女
生年月日	明治・大正	<input checked="" type="radio"/> 昭和	11年 1月 1日	83 歳
住所・電話番号 (住民票記載の住所とします。)	都筑区茅ヶ崎中央〇〇-〇			☎045-〇〇〇-〇〇〇〇
緊急連絡先 (連絡がつく連絡先)	フリガナ 氏名	続柄	居住する都道府県と市町村	連絡の実施状況
	ツツキ イチロウ <b>都筑 一郎</b> ☎ 045-〇〇〇-〇〇〇〇	長男	横浜市都筑区	<input checked="" type="radio"/> 済・未
	フリガナ 氏名	続柄	居住する都道府県と市町村	連絡の実施状況
	ツツキ ジロウ <b>都筑 次郎</b> ☎ 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇	次男	東京都品川区	済・ <input checked="" type="radio"/> 未

【救急隊への引継事項】※救急隊到着までに記入すること※

救急要請理由	心肺停止(発見:12時30分、最終生存確認:12時15分)		
応急手当の内容	胸骨圧迫(12時30分)、AED装着(ショックなし、12時35分)		
病院連絡 <small>※緊急時に連絡する病院が決まっている場合は、事前に記入をお願いします。</small>	( A 病院 )	応需	<input checked="" type="radio"/> 不応需・未連絡
	( B 病院 )	応需	不応需・ <input checked="" type="radio"/> 未連絡

【医療情報】※事前記入※

既往歴・現病歴	心筋梗塞、(H〇〇年 カテーテル手術 A病院) 高血圧、脳出血(H〇〇年 血栓回収 B病院) ※フォローにあつては(C病院~連携病院)		
服用している薬 (おくすり手帳も渡してください。)	ワーファリン、アムロジン ※服用している薬の情報が記載されている「おくすり手帳」等を提供・提示できれば記入は不要とします。		
ADL (日常生活動作)	意思疎通 排泄 食事 歩行 麻痺	<input checked="" type="radio"/> 可能・一部・不能) <input checked="" type="radio"/> 自立・一部介助・全介助) <input checked="" type="radio"/> 常食・刻み・ミキサー・その他: (寝たきり・車いす・ <input checked="" type="radio"/> 杖・手引歩行・自立) (麻痺の部位:右半身)	
認知症(程度)	重度・中度・ <input checked="" type="radio"/> 軽度・なし		
救急救命士が行う 救急救命処置	<input checked="" type="radio"/> 希望する・希望しない ※救急隊は、心肺蘇生法を行いながら医療機関へ搬送します。		

【施設情報】※事前記入※

施設名と電話番号	P15「DNAR傷病者に対する救急隊の対応」を参照してください。 特別養護老人ホーム つづき ☎ 045-〇〇〇-〇〇〇〇		
提携している病院名と電話番号	C 病院	☎ 045-〇〇〇-〇〇〇〇	
	D 病院	☎ 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇	

※「情報提供用紙」は、救急業務以外には使用しません。また、返却しない場合もあります。  
網掛け部分は救急要請時に記入してください。それ以外の項目は事前に記入しておいてください。  
緊急連絡先の記入者には、救急隊あるいは搬送医療機関から連絡がある旨もお伝えください。  
くれぐれも記載内容について、間違いがないようにしてください。

都筑消防署

高齢者福祉施設編



# 救急隊への情報提供用紙 (都筑区・高齢者福祉施設用)

## 【基本情報】※事前記入※

作成日: 令和 年 月 日

フリガナ 氏名				男・女	
生年月日	明治・大正・昭和	年	月	日	歳
住所・電話番号 (住民票記載の住所とします。)	☎				
緊急連絡先 (連絡がつく連絡先)	フリガナ 氏名	続柄	居住する都道府県と市町村	連絡の実施状況	
	☎			済・未	
	フリガナ 氏名	続柄	居住する都道府県と市町村	連絡の実施状況	
	☎			済・未	

## 【救急隊への引継事項】※救急隊到着までに記入すること※

救急要請理由					
応急手当の内容					
病院連絡 <small>※緊急時に連絡する病院が決まっている場合は、事前に記入をお願いします。</small>	(	病院)	応需	・ 不応需	・ 未連絡
	(	病院)	応需	・ 不応需	・ 未連絡

## 【医療情報】※事前記入※

既往歴・現病歴				
服用している薬 (おくすり手帳も渡してください。)	※服用している薬の情報が記載されている「おくすり手帳」等を提供・提示できれば記入は不要とします。			
ADL (日常生活動作)	意思疎通	(可能・一部・不能)		
	排泄	(自立・一部介助・全介助)		
	食事	(常食・刻み・ミキサー・その他:	)	
	歩行	(寝たきり・車いす・杖・手引歩行・自立)	)	
	麻痺	(麻痺の部位:	)	
認知症(程度)	重度 ・ 中度 ・ 軽度 ・ なし			
救急救命士が行う 救急救命処置	希望する ・ 希望しない ※救急隊は、心肺蘇生法を行いながら医療機関へ搬送します。			

## 【施設情報】※事前記入※

施設名と電話番号	☎
提携している病院名と電話番号	病院 ☎ 病院 ☎

※「情報提供用紙」は、救急業務以外には使用しません。また、返却しない場合もあります。

都筑消防署

網掛け部分は救急要請時に記入してください。それ以外の項目は事前に記入しておいてください。

緊急連絡先の記入者には、救急隊あるいは搬送医療機関から連絡がある旨もお伝えください。

くれぐれも記載内容について、間違いがないようにしてください。

## 【迅速な救急搬送を行うための準備・取組】

迅速な救急搬送のため、下記の取組を普段から行い緊急時に備えてください。

### 1 治療方針の情報共有

あらかじめ治療方針等（積極的治療、延命処置等）に関する意思表示について確認してください。治療方針が分からないと医療機関選定と医療機関での処置が大変困難となる場合があります。

### 2 「救急隊への情報提供用紙」について

#### (1) 事前の作成

迅速な搬送を行うため、あらかじめ「救急隊への情報提供用紙」（P9、10 参照）を作成してください。また、家族等に、本情報提供用紙は救急隊に渡すことをお伝えください。

#### (2) 定期的な更新

傷病者への応急処置に必要な情報となるため、定期的に本人、家族、かかりつけ医等と確認し、本情報提供用紙を更新してください。

#### (3) 保管方法

情報提供書の保管は、入所者ごとにサマリーや「延命処置、意思表示の書面」とともに保存するなど、速やかに救急隊へ一括した情報を渡せるよう努めてください。

「救急隊への情報提供用紙」は都筑消防署のホームページからダウンロードできます。また、都筑消防署と各消防出張所においても配布しています。

都筑消防署

検索

### 3 家族等との連絡体制の確保

特に終末期の状態となった場合、家族等との連絡体制を確保し、緊急時は家族が病院に駆け付けられるようにしてください。

### 4 救急要請時の救急隊への対応と同乗

救急車を要請した時は、一時的に人員の配置等を工夫し、迅速な案内と情報提供、そしてその時の状況を知っている職員による救急車への同乗をお願いします。

### 5 救急隊への迅速な情報提供のお願いと救急隊による医療機関の選定

救急車での搬送を医療機関に連絡済みであっても、必ず、主訴・状況・既往・かかりつけ医等（「救急隊への情報提供用紙」に記載の内容）を救急隊に口頭で伝えてください。救急隊はその内容を医療機関に伝えますが、応需確認が取れないと搬送を開始できません。

また、医療機関の選定は原則、現場から近い医療機関から選定を行うため、施設側から指定された医療機関に搬送することができない場合もあります。

### 6 医師との連絡体制の確保

緊急時には、かかりつけ医等の判断を仰げるよう連絡体制を確保してください。

### 7 搬送先医療機関への診療情報提供書（紹介状）の提出

救急車で傷病者を搬送する場合、医療機関で適切な治療を行うため、「診療情報提供書（紹介状）」を救急隊に手渡すか、速やかに搬送先医療機関に送付してください。

### 8 救急要請時を想定した対応訓練の実施

毎年一回は救急要請時の対応訓練を行い、迅速に救急隊への引継ぎが実施できるように御協力をお願いします。必要に応じて、消防署に指導を依頼してください。（最寄りの消防署についてはP16を参照）

### 9 医療機関を知りたい場合の問い合わせ先

明らかに軽症と思われる事案で、「病院を探したが、見つからないので救急要請をした。」との理由で救急要請されたこともあります。明らかに、救急車が必要ないと判断した場合は施設で医療機関を探し、施設側での搬送をお願いします。（P18「いま救急受診できる病院・診療所を知りたい」を参照）

## 【容態変化等に備えた取組】

### 1 予防対策の実施

施設内でのケガや感染症等の予防をしてください。転倒等による負傷がないように施設の確認や点検、またインフルエンザ等の感染症が発生しないように手洗い、うがいといった予防対策を積極的に行ってください。

### 2 入所者の容態観察

入所者の意識の状態、呼吸、脈拍、血圧、体温、SpO<sub>2</sub>（血中酸素飽和度）等の健康状態に注意してください。夜間帯に容態の急変が予想される場合は、昼間のうちに施設所有の車等で医療機関に受診させる等、早めの対応を心掛けてください。

## 【高齢者福祉施設での取組事例】

- 肺炎など高齢者にとって重い症状の特徴について、施設内において勉強会を開き、真に救急車の要請が必要な場合を除いて要請しない取り組みを実施している。
- 夜間帯は医師または看護師が不在となるため、容態の急変が予想される入所者をあらかじめ昼間の段階で施設の搬送車で病院へ搬送する。
- 夜間帯は職員数が少なくなるため、救急車を要請した場合は施設の近くに住む職員に出勤させ、容態変化の状況を知っている職員が救急車に同乗している。
- 夜間など職員数が少ない時間帯を想定した救急要請時の対応訓練を行っている。

## 【高齢者福祉施設からの救急要請で救急隊が対応に苦慮した事例】

- 夜間帯、入口が解錠されず、傷病者との接触に時間を要した。
- 施設職員の勤務交代直前に救急車を要請し、救急隊に対応した職員が状況を全く分からず、状況聴取に時間を要した。
- 傷病者の治療方針が分からず、医療機関への応需確認に時間を要した。
- 感染症疑いの傷病者で、搬送先医療機関決定まで時間を要した。
- 搬送先の医療機関が決定したが、同乗する施設職員の調整に時間を要した。



1 都筑区と周辺救急隊の配置状況

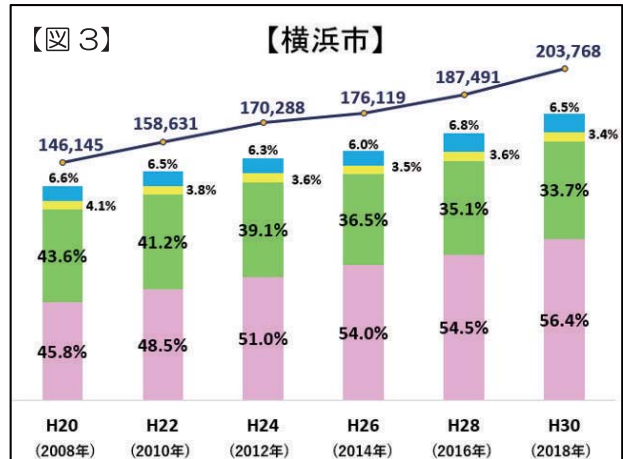
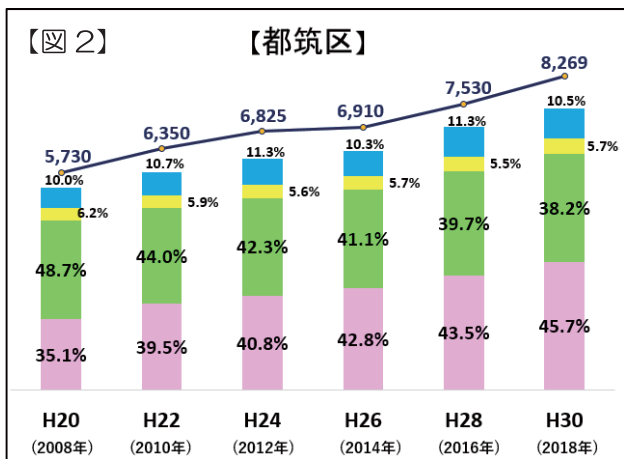


救急車を要請した場所から、最も近い救急車が出発します。都筑区で救急車を配置している消防署は都筑消防署、川和、仲町台消防出張所の計3か所です。平成30年度で「横浜市消防力の整備指針（平成31年4月改正）」の救急隊配備隊数の目標値である77隊が配備完了となり、近隣では新たに荇田消防出張所（青葉区）に救急隊が配置されました。【図1】

2 救急搬送の現状と課題

(1) 高齢者の搬送増加

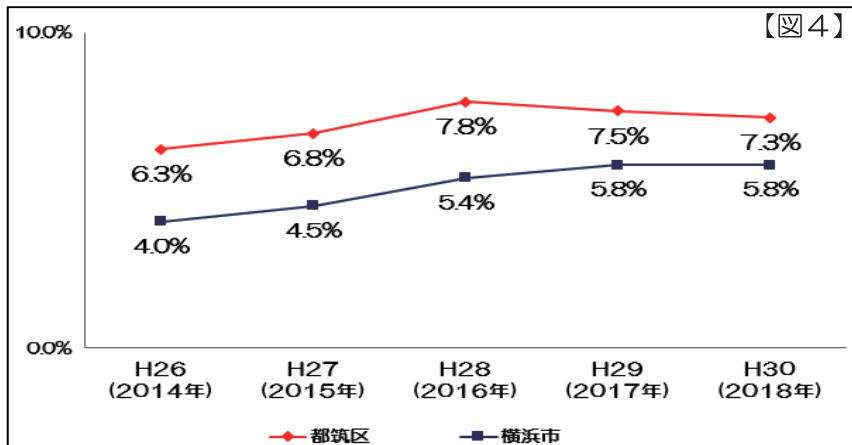
都筑区は世帯年齢が若く、65歳以上の搬送割合が45.7%と横浜市全体と比較すると少ない状況ですが、世代別では高齢者世代からの救急要請がもっとも多い状況です。【図2、3】



■ 高齢者(65歳以上)    ■ 成人(18~64歳)    ■ 少年(7~17歳)  
■ 乳幼児(0~6歳)    —●— 救急出場件数

(2) 高齢者福祉施設に対する救急出場の割合が高い

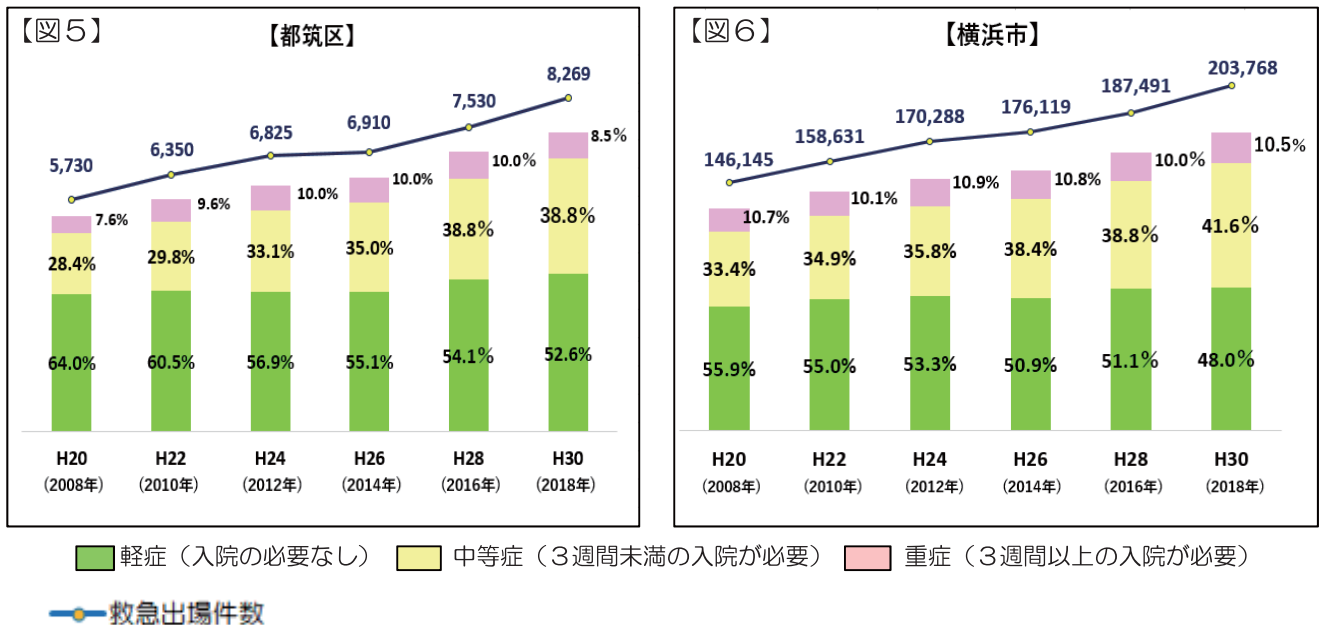
都筑区内の高齢者福祉施設への救急出場の割合は、横浜市全体の平均よりも多い状況です。【図4】



### (3) 都筑区は軽症者の搬送割合が多い

傷病者の搬送割合について、都筑区では過去10年において、半数以上が軽症です。【図5】

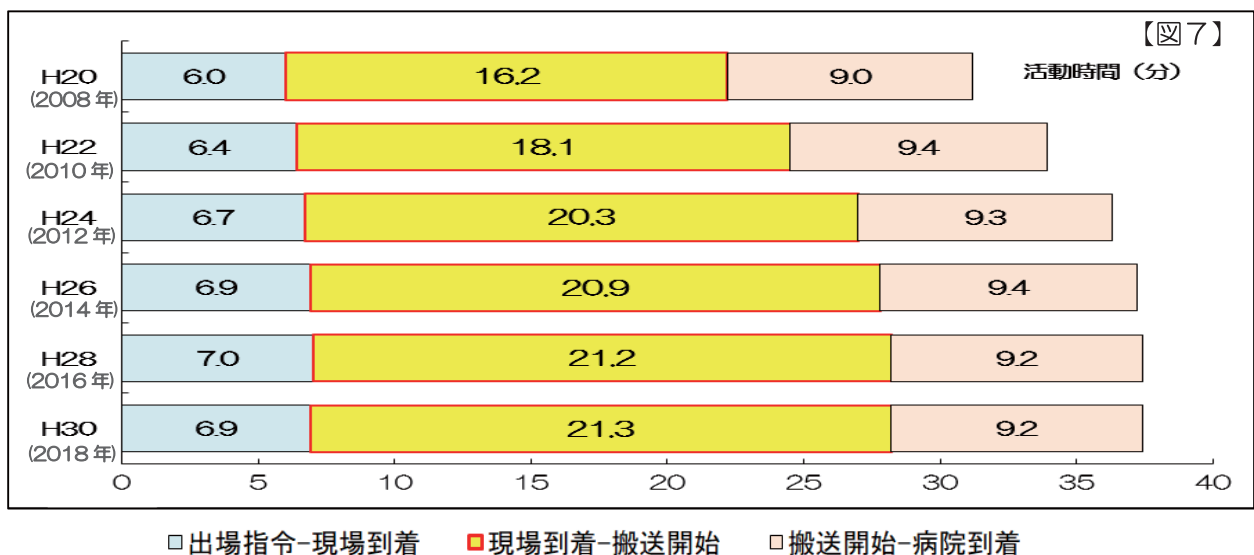
横浜市全体における近年の傾向は、入院を必要としない軽症の割合が減少し、中等症以上の割合が増加しています。【図6】



### (4) 救急活動時間の延伸化

救急出場件数の増加とともに、現場での救急活動時間も年々延伸しており、現場滞在時間（現場到着～搬送開始）が、10年前と比較して5.1分も延伸しています。【図7】

増え続ける一人暮らし高齢者への救急対応では、状況や病歴等の情報を聴取するのに時間がかかり、さらには家族などのキーパーソンの連絡先が分からず、搬送先医療機関の受入確認にも時間がかかるなど、現場での滞在時間のさらなる延伸も懸念されます。



### (5) 救急活動に関わる全国的な課題

全国的に課題となっている、積極的な延命処置を希望しない、いわゆる「看取り」が横浜市や都筑区についても増えています。その対応方法についてご家族などに十分浸透されていないことから、救急活動においてもその対応に苦慮しています。また、救急車を不適正な理由で頻回に要請する方への対応も関係機関と連携した対応が必要な状況です。

## ア DNAR傷病者に対する救急隊の対応

救急隊は、心肺蘇生法等の応急処置を実施して医療機関へ搬送することが業務とされています。

心肺機能停止傷病者に対しては、救急救命士が医師の具体的指示に基づき、器具を用いた気道確保、静脈路確保や薬剤（アドレナリン）投与等の救急救命処置を行います。

DNARの意思表示があった場合でも、心肺蘇生法を実施しながら速やかに医療機関へ搬送します。

### ※ DNARとは（参考）

患者本人または患者の利益にかかわる代理者の意思決定をうけて、心肺蘇生法を行わないこと。  
（日本救急医学会ホームページから引用）

## イ 救急頻回要請者に対する関係機関と連携した対応

不適正な理由等で頻回に救急要請する方への対応を、消防署のみで実施してもなかなか解決に至りません。区役所、地域ケアプラザ、家族とともにカンファレンスを重ね、救急要請の原因を探り、それぞれの得意分野を活かしながら、連携した対応が必要となります。

過去、都筑区においても区役所、地域ケアプラザ等の関係機関が連携して対応を行った結果、救急要請が減少した例もあります。

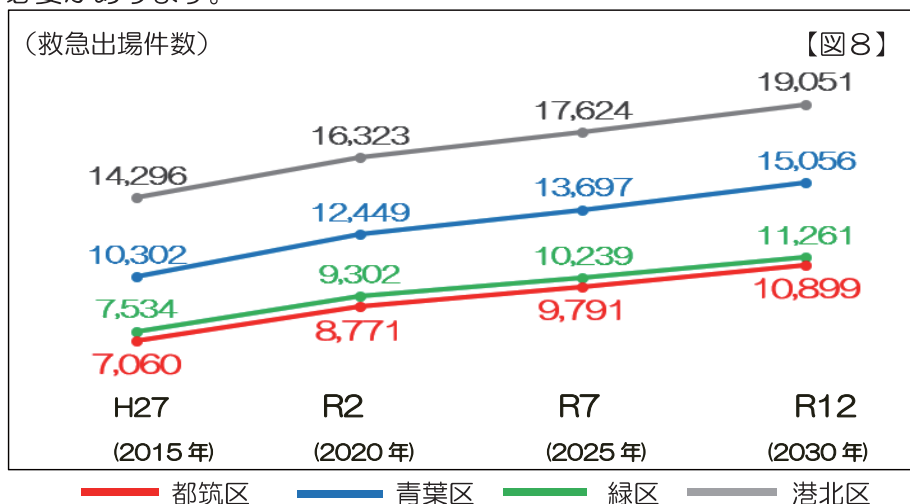
## 3 今後の対策について

### (1) 令和12年(2030年)までの救急需要予測

令和12年(2030年)までの救急需要予測(平成29年当局と横浜市立大学で共同研究)では、都筑区の救急出場件数が10,899件となり、平成27年(2015年)から令和12年(2030年)までの増加件数は約3,800件となります。また、隣接区においても同様に救急件数の増加が見込まれ、それに伴い一日の救急出場件数についても、都筑区や隣接区において増加が予想されます。【図8】

### (2) 「救える命が救われるまち 都筑区」の実現に向けて

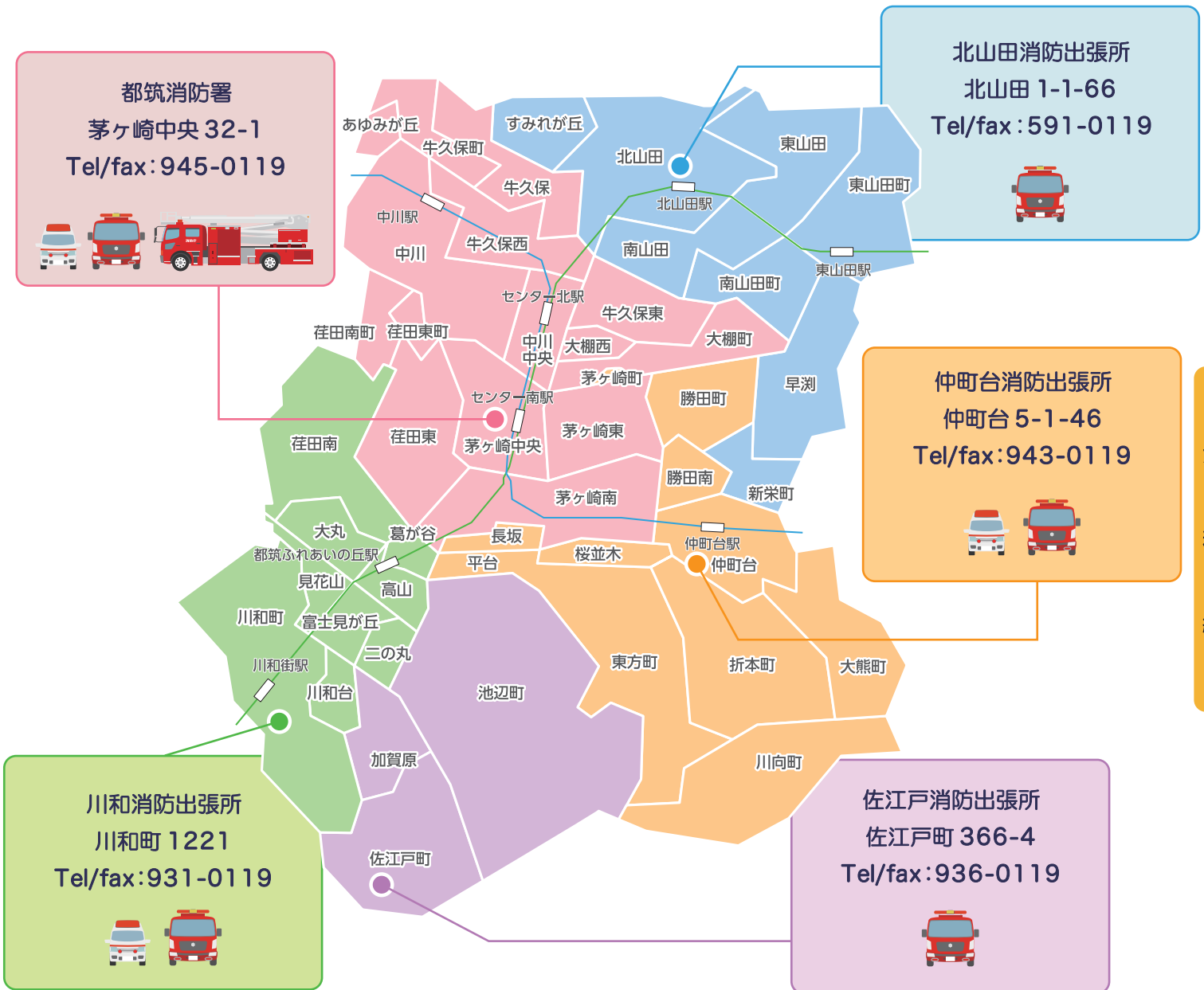
都筑区は高齢者の転入や高齢者福祉施設の増加に伴い、高齢化率が急激に高くなると見込まれています。これに伴い増加が見込まれる救急要請、医療機関以外での「看取り」など、今後も関係機関と連携しながら諸課題に対処することが急務となっています。まずは、年々増加する高齢者世代への対策を行うために、高齢者に関わる関係者、関係機関とともに連携していくことが重要です。そして、それぞれが持つノウハウとネットワークを共有しながら、迅速な救急搬送を実現させ、救急車を必要とするべき人に速やかな対応ができる体制の構築を行い「救える命が救われるまち 都筑区」の実現に向けて取り組んでいく必要があります。



## 都筑区 高齢者支援に関する関係機関

名 称	電話番号	住 所	時 間
昭和大学横浜市北部病院	949-7000	茅ヶ崎中央 35-1	平日 8:30~12:00 土曜 8:30~11:00
都筑区在宅医療相談室	910-6582	牛久保西 1-23-4	平日 9:00~17:00
新栄地域ケアプラザ	592-5255	新栄町 19-19	平日・土曜日 9:00~21:00 日曜・祝日 9:00~17:00
中川地域ケアプラザ	500-9321	中川 1-1-1	
東山田地域ケアプラザ	592-5975	東山田町 270	
加賀原地域ケアプラザ	944-4640	加賀原 1-22-32	
葛が谷地域ケアプラザ	943-5951	葛が谷 16-3	平日 9:00~17:00
都筑区社会福祉協議会	943-4058	荏田東 4-10-3	平日 9:00~17:00
都筑区役所	948-2323	茅ヶ崎中央 32-1	平日 9:45~17:00

## 都筑消防署と各消防出張所



資料編

## 夜間・休日の急な病気のと き

### ●夜間急病センター（都筑区と近隣） 診療日：毎日

名称	住所	電話	診療時間	診療科目
北部夜間急病センター	牛久保西 1-23-4	911-0088	20:00 ～ 24:00	内科・小児科
夜間急病センター	中区桜木町 1-1	212-3535		内科・小児科 眼科・耳鼻咽喉科

### ●休日急患診療所（都筑区と近隣） 診療日：日曜日、祝日、年末年始（12/30～1/3）

区名	住所	電話	診療時間	診療科目
都筑区	牛久保西 1-23-4	911-0088	10:00～16:00	内科・小児科
緑区	中山 3-16-2	937-2300		
港北区	菊名 7-8-27	433-2311		
青葉区	市ヶ尾町 31-21	973-2707	9:00～12:00 13:00～16:00	

### ●夜間・休日の歯科診療 診療科目：歯科

区名	住所	電話	診療時間	診療日
市歯科保健 医療センター	中区相生町 6-107	201-7737	19:00～23:00 (受付：22:30 まで)	毎日
			10:00～16:00 (受付：15:30 まで)	日曜日・祝日 年末年始 (12/29～1/4)

## 横浜市患者搬送事業認定事業者一覧（都筑区と近隣）

行政区	事業所名・所在地	お問い合わせ	受付時間	ホームページ 有・無
都筑区	福祉タクシー ふれあいの丘(葛が谷1-606)	070-5566-6799	8:00～20:00 予約があれば 24時間対応	有
港北区	古屋運送(株) スマイル・サポート・サービス (菊名7-10-6)	045-544-4345	24時間	有
	(株)ゆい (日吉本町1-27-37)	045-560-3671	8:30～18:00 (日・祝除く)	有
	ケアタクシーアジャスト (箕輪町3-26-8-103)	045-561-3712	8:30～18:00	有
	さぼーと すみや (高田西4-30-9)	045-593-3156	8:00～18:00	
	ケアタクシー らいおんハート (綱島西6-13-9)	090-4533-1449	0:00～24:00	
	ハウネス福祉センター (菊名3-22-15)	045-433-8816	9:00～17:00	有
	ほっとケア・タクシー (新羽町1747-22)	045-547-9599	24時間	
	いちご介護タクシー (下田町4-3-14)	045-624-8040	24時間	
	介護移送サービス 志のぶ (新羽町818-1-303)	045-531-2044	7:00～18:00	
青葉区	(株)グレイスケア (しらとり台7-6)	045-567-6242	8:00～20:00	有
	(株)MYLINK (荏田町336-1-103)	045-507-4180	電話受付 7:00～24:00	有
	まつもとケアタクシー (美しが丘5-21-25)	045-777-6102	8:00～18:00	有
	ライフサポートあかつき (荏田北1-11-18-102)	080-5421-8656	8:00～24:00	



## 都筑区と近隣の医療機関

※FAX番号は「診療情報提供書」の送付先となります。

**FAXの場合、誤送付には十分お気をつけください。**

	病院名	電話番号	FAX番号
都筑区	昭和大学横浜市北部病院	949-7000	949-7137 (平日 8:00~17:00) 上記以外の時間は、左記の電話番号に電話連絡
	山本記念病院	593-2211	593-5410 (24時間)
港北区	横浜労災病院	474-8111	474-8344 (平日 8:15~19:00) 474-8166 (上記以外の時間)
	高田中央病院	592-5557	592-5617 (24時間)
青葉区	昭和大学藤が丘病院	971-1151	974-4325 (平日、土曜日 8:30~17:00) 972-0964 (上記以外の時間)
	横浜新都市脳神経外科病院	911-2011	910-1562 (平日 8:30~17:30、土曜日は 8:30~12:30) 911-4039 (上記以外の時間)
	横浜総合病院	902-0001	903-3098 (24時間) ※ 送付前に左記の電話番号に連絡
	たちばな台病院	962-3338	530-5791 (平日 8:00~17:00) 962-3172 (上記の時間以外)
	青葉さわい病院	901-0025	903-9886 (平日 8:45~17:30) ※ 送付前に左記の電話番号に連絡
緑区	横浜新緑総合病院	984-2400	984-6271 (24時間)
	鴨居病院	933-1911	934-0646 (24時間)
	牧野記念病院	933-4111	938-4878 (平日 8:30~17:00) 937-4846 (上記以外の時間)

**いま救急受診できる病院・診療所を知りたい**

電話から

年中無休  
24時間対応

# 7 1 1 9  
または 045-232-7119


1 番を選択

パソコン  
スマートフォンから

市内ウォークイン情報  
(横浜市病院協会)

時間外診療を受け付けている  
医療機関を検索できます

市内ウォークイン情報



(聴覚障害者専用) 医療機関案内のみ      FAX 045-242-3808

**すぐに救急外来を受診すべきか、救急車を呼ぶべきか知りたい**

電話から

年中無休  
24時間対応

# 7 1 1 9  
または 045-232-7119

2 番を選択

パソコン  
スマートフォンから

救急受診ガイド

横浜市救急受診ガイド    検索

救急受診ガイド



※冊子版もあります (各区消防署で配布)

本マニュアルは都筑消防署ホームページに掲載されています。

🔍 都筑消防署

検索

## 都筑区版 救急隊への情報提供用紙

【一般世帯用】



【高齢者福祉施設用】



編集：「都筑区救急需要対策連絡会」、「都筑区版救急対応マニュアル作成作業部会」  
都筑区医師会、昭和大学横浜市北部病院、都筑区在宅医療相談室、都筑区訪問看護連絡会、  
ケアネットつづき（ケアマネ部会、訪問介護部会）、都筑区民生委員児童委員協議会、横浜高齢者グ  
ループホーム連絡会・都筑ブロック、認知症型高齢者グループホーム夢観、介護付有料老人ホーム  
イリーゼ横浜センター南、介護老人保健施設ソフィア都筑、特別養護老人ホームヴィラ都筑、住宅  
型有料老人ホームグッドタイムリビング横浜都筑、東山田地域ケアプラザ、横浜市新栄地域ケアプ  
ラザ、横浜市中川地域ケアプラザ、横浜市葛が谷地域ケアプラザ、横浜市加賀原地域ケアプラザ、  
都筑福祉保健センター、都筑消防署（順不同）

## 横浜市都筑消防署

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1

電話/FAX：045-945-0119

令和2年1月発行